

# 2月市会審議結果

2月市会で審議した市長提出議案 141 件、議員提出議案 14 件の審議結果は、次のとおりです。(○=賛成、×=反対)

件名	審議結果	会派名等						
		自民党	共産党	民主都	公明党	京都党	無所属※1	無所属※2
27年度予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○
26年度補正予算案	可決	○	×	○	○	○	○	○
条例制定案	可決	○	○	○	○	○	○	○
	可決	○	×	○	○	○	○	○
	可決	○	×	○	○	○	○	○
	可決	○	×	○	×	○	○	○
条例改正案	可決	○	○	○	○	○	○	○
	可決	○	×	○	○	○	○	○
条例廃止案	可決	○	×	○	○	○	○	○
	可決	○	○	×	×	○	×	×
その他の議案	可決	○	○	○	○	○	○	○
	可決	○	×	○	○	○	○	○
議員提出議案	可決	○	○	○	○	○	○	○
	否決	×	○	×	×	○	×	×

自民党=自由民主党京都市会議員団 (23 人) 共産党=日本共産党京都市会議員団 (14 人) 民主=都=民主・都みらい京都市会議員団 (13 人) 公明党=公明党京都市会議員団 (12 人) 京都党=地域政党京都京都市会議員団 (4 人) 無所属※1=清水ゆう子議員 無所属※2=森川央議員 ( ) 内は3月20日現在の会派・議員数 可決された意見書や議案に付された付帯決議の全文は、市会ホームページから御覧ください。

# 2月市会で審議した主な議案の審議結果

## 市長提出議案

### 平成26年度補正予算と平成27年度当初予算を可決

◆平成26年度補正予算

国の「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策の利便な財源を活用し、平成27年度当初予算と一体となつて編成された平成26年度補正予算を、2月20日の本会議で予算特別委員会に付託、審査のうえ、2月27日の本会議で可決しました。

◆平成27年度当初予算

東京極集中を打破し、「人口減少社会に挑戦する予算」として編成された平成27年度当初予算を、2月27日の本会議で予算特別委員会に付託のうえ、3月20日の本会議で可決しました。

平成27年度当初予算では、京都経済の活性化や子育て環境の充実、防災・減災対策の強化などが重視されており、「一般会計(7千50億円)が過去2番目の規模となるなど、総額約1兆7千億円の積極予算となっています。予算特別委員会での平成27年度当初予算の審査内容は、下欄記事を御覧ください。

予算に関する問合せ  
財政課 TEL222-32901

### ごみの減量に向けて2R(リデュース(発生)の抑制)

◆ごみの減量を加速するため、廃棄物の減量と適正処理等に関する条例の一部改正案を可決しました。

本市でのごみの減量を加速するため、廃棄物の減量と適正処理等に関する条例の一部改正案を可決しました。改正案を可決した後、付帯決議を付し、事業者や市民の皆様への廃棄物の発生抑制や再使用等の周知を徹底すること、分別しやすき環境整備に努め、分別義務の違反者を特定する調査などについては慎重な対応を行うこと、製造者責任を求め、食事の持ち帰りなどの取組が全国的なものとなるよう国などに積極的に働きかけ続けることを求めました。

◆条例に関する問合せ

ごみ減量推進課 TEL213-4930

### 繁華街などの特定区域での客引き行為等を禁止

◆公共の場所での市民や観光客等の安心・安全な通行を確保するため、客引き行為等の禁止などに関する条例の一部改正案を可決しました。

同条例では、本市で客引き行為等をしてし、行わせないこと、および客引き行為等の禁止などに関する条例の一部改正案を可決しました。同条例は、過料を科す罰則規定を設けています。

### 条例に関する問合せ

くらし安全推進課 TEL222-3193

### 地域でのトラブル回避や利用者保護の観点からペット霊園を規制

◆いわゆるペット霊園に関しては、飼い主によるニーズがある一方で、近年、ペット霊園事業者と近隣住民とのトラブルが全国的に問題になっています。

本市においても同様の事例が発生していたことから、ペット霊園の設置運営に関して、土葬の禁止などの技術的基準を設けるとともに、ペット霊園の立地を禁止する区域(都市計画法に基づき用途地域などを定める条例)を可決しました。

◆条例に関する問合せ

医務衛生課 TEL222-13433

### 人にも動物にも心地よいまちづくり

◆大や猫によるふん尿被害などについては、関連法令において一定の規制が定められているものの、より具体的な規範や罰則等の実効性のある規定がなく、マナー意識の低い飼い主等への抑止力として十分に機能していません。

このため、人が動物を通じて他人に迷惑を掛けないよう具体的なルールを示した条例案が市長から提出されました。市会では提出された条例案に対して修正を行い、名称を条例の趣旨である「共生を全面に打ち出した京都市動物との共生に向けたマナー等に関する条例」に変更するとともに、この条例がより趣旨に沿ったものとなるよう、その理解促進のための期間として、施行期日を平成27年4月1日から7月1日に改めたうえで、可決しました。

### 議員提出議案

◆平成27年度も議員報酬を10%削減

平成27年度も引き続き議員報酬を10%削減することとしました(平成23年度から実施)。

◆条例に関する問合せ

医務衛生課 TEL222-4272

### 議員提出議案

◆平成27年度も議員報酬を10%削減

平成27年度も引き続き議員報酬を10%削減することとしました(平成23年度から実施)。

◆条例に関する問合せ

市会事務局総務課 TEL222-3700

## 通年議会導入後、初めての定例会が閉会

(平成26年4月16日開会、会期339日) 通年議会を導入後、初めて開催した平成26年第2回定例会が3月20日に閉会しました。

## 予算特別委員会

◆平成27年度当初予算を徹底的に審査

一般会計予算などの平成27年度当初予算とその関連議案については、2月27日の本会議で予算特別委員会に付託し、審査を行いました。平成27年度当初予算の審査に当たり、予算特別委員会では、3月2日か5日にかけて、3つの分科会で個別の質疑を行った後、3月12日と13日、市長等に対する総括質疑を行い、3月19日に審査を終了しました。その後、3月20日の本会議で、委員長から審査の経過と結果の報告があり、予算特別委員会への付託議案に対し、1人が修正案の提案説明、10人が討論を行った後、採決を行い、全ての議案を可決しました。

ここでは、予算特別委員会での委員からの質疑とそれに対する市長等の答弁のうち、予算全般にかかわる内容のものを一部御紹介します。

### Q

3年連続の積極予算となっているが、今後は、更に事業を見直すなど無駄を省き、人口減少・超高齢化社会の進展という中、現役世代や若者等全ての世代が納得できる予算にする必要がある。平成27年度の予算編成についての基本方針、決意はどうか。

### A

東京一極集中の打破、人口減少社会への挑戦に視点を置きつつ、京都の強みをいかした予算に編成した。財政規律を守り借金を減らしていく、行財政改革を一層断行するなど、京プラン実施計画の総仕上げの予算として編成したものである。景気は全体として回復傾向にあり、平成27年度予算では、この景気回復を市民の方々と中小企業が実感できるように取組を進めるとともに、京プランを推進していくことにより、京都の未来を展望することができると確信している。



京都市会の議会運営の1年について、7面で紹介しています。